



中央ウェイ

1月号

～「思い」を「行動変容」に～

校長 木村 利男

今年も残りわずかとなりました。今年一年、皆様にとってはどんな年でしたか。

年末恒例の今年一年の世相を表す漢字一文字が、「税」との報道がありました。今年は「税」にまつわるさまざまな改正や検討が行われました。

また、「新語・流行語大賞」の年間大賞は、アレ (A. R. E.)。この言葉だけ見ると、アレって何??となりますが、今年は、阪神タイガースが日本シリーズを制し1985年以来38年ぶり2度目の日本一となり、「アレ=優勝」が大きく取り上げられました。

さらに、「今年の新語2023」の大賞に、地球温暖化が深刻になった段階を表現した言葉である「地球沸騰化」が選ばれました。

毎年この時期発表される「言葉」は、その時代を映す一つの鏡であり、生徒の皆さんには、常に社会の変化に敏感になり、幅広く物事をとらえる意識をもって、行動してほしいと願っています。

さて、先日、近隣の方から本校生徒の通学時のマナーに関する苦情をいただき、12月、中学部の学部集会で話をしました。ご存じのとおり、最寄駅から学校までの通学路は、ガードレール内を歩行する際、学校に向かう生徒と、急いで駅に向かう方々とがすれ違うには物理的に狭い箇所があります。常日ごろから、生徒には、対向者や通りすがりの人に道を譲れるよう、周りに気を配る気持ちをもって登下校をしてほしいと伝えてきました。友達同士、手話で話すことの大切さはよくわかっています。ただ、広がって公共の道を歩くと、他の歩行者に迷惑をかけることがあり、どうしたらよいのかと投げかけました。

今回、相手の気持ちを理解できる本校の生徒に、江戸しぐさの一つ「傘かしげ」、狭い道で傘をさしたまますれ違うときにお互いによけて、相手の体に雨や傘からの水が垂れないようにという心遣いのしぐさを紹介しました。

「心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる、運命が変われば人生が変わる。」日常生活において、生き方を変えるのは自分の「心」であることを踏まえ、今後自分自身のとるべき行動について、今一度考え、「思い」を「行動変容」に繋げていくことを期待すると伝えました。

年末年始を迎えるに当たり、改めて今年一年の自分自身の行動を振り返り、何を頑張って取組んだか、自分で自分を認め、肯定し、足りなかったことへの気づきをとおして、来年の目標をしっかりとたて、どのように行動していくのかをイメージしてほしいと思います。思ったことを即実践に移す「チャレンジ精神」を大事に行動しよう。常に、先生方は生徒の皆さんを応援しています。

私は、来年の目標を漢字一字で表してみました。「繋 (つなぐ)」

生徒同士、生徒と教員、保護者と教員、教員間、また学校と地域をさらに「つなぐ つなげる つながる」ことを目指し、尽力していきます。引き続きよろしくお願ひします。

今年一年、大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。